

青少年ふくしま

福島県青少年育成県民会議
第45号
平成27年1月15日(木)

「第37回福島県青少年健全育成推進大会」開催 ～生かそう、きずな。未来のために！～

明けましておめでとうございます。昨年は福島県青少年育成県民会議の行事や運営につきまして多大なる御支援・御協力いただきましてありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願いたします。明るい未来に向かって子どもや若者が健やかに伸びる社会を築いていきましょう。

昨年11月21日(金)、福島県文化センター小ホールにおいて「第37回福島県青少年健全育成推進大会」を開催いたしました。東日本大震災及び原子力災害から3年9ヶ月が経過し、日々復興再生に向けて多様な取り組みが為される中、本県青少年の健全育成が積極的に推進されています。殊に当日受賞された個人・団体の皆様方の積極的な活動の継続には心から敬意を表します。



開会に先立ち、オープニングセレモニーとして福島市立信夫中学校合唱部の皆さんによるさわやかな歌声がホールいっぱいに響きわたり、大会に花を添えていただきました。

開会の言葉に続いて福島県知事(副知事が代理)の主催者あいさつがあり、その後表彰式にうつりました。

1 福島県青少年健全育成条例に基づく知事表彰

○青少年団体の部

多田野野球スポーツ少年団様(郡山市)

○青少年育成団体の部

いわき市青少年育成市民会議常磐地区推進協議会
磐崎支部様(いわき市)

○青少年育成者の部

國馬善郎様(郡山市) 石田秀夫様(郡山市) 邊見五平様(白河市) 田中一正様(南相馬市)
山野邊一男様(いわき市) 四家博三郎様(いわき市)



2 福島県青少年育成県民会議会長表彰

○青少年指導者の部

寺島孝一様(福島市) 菅野英昭様(福島市) 佐久間久美子様(福島市) 須田範子様(伊達市)
遠藤誠一様(本宮市) 須賀昭光様(郡山市) 柴原義次様(白河市) 磯部征子様(会津若松市)
廣木恒雄様(会津若松市) 二瓶政江様(会津若松市) 鶴巻重信様(喜多方市) 筒井正行様(下郷町)
千枝浩美様(相馬市) 鹿山厚子様(南相馬市)

○青少年団体・青少年育成団体の部

東部地区青少年健全育成推進会様(福島市) ボーイスカウト福島連盟福島第3団様(福島市) 福島北地区警察ボランティア協会様(福島市) 伊達地区保護司会様(伊達市) 富久山卓球スポーツ少年団様(郡山市) 美里イーグルススポーツ少年団様(会津美里町) 南会津地区少年警察ボランティア会様(下郷町) 檜の葉見守り隊様(下郷町)



○青少年育成市町村民会議の部

本宮市青少年育成市民会議様 南相馬市青少年育成市民会議様

○青少年健全育成功労者の部

菅野孝男様(福島市) 遠藤和臣様(福島市) 宗形義基様(郡山市) 加藤桂子様(相馬市)
片寄好雄様(いわき市) 渡辺尚子様(いわき市)

3 「家庭の日」作文、絵画、ポスター作品最優秀者知事表彰

○作文の部

渡邊風紗さん（玉川第一小2年） 須田千裕さん（湯本第一小3年）

齊藤優美さん（芳山小6年） 渡邊美咲さん（須釜中3年）

小峰光由さん（白河高校1年）

○絵画の部

牛来志織さん（平第一小1年） 齋藤 菖さん（熊町小3年）

関口菜々子さん（須賀川第二小6年）

○ポスターの部 田村琴深さん（石川中3年）



4 独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長表彰「努力賞」伝達

巻 幸星さん（河東中3年）

栄えある表彰状を受け取られた皆様に、来賓の福島県議会議長様、福島県教育委員会教育長様、福島県警察本部長様から心あたたまるご祝辞をいただきました。

続いて、「家庭の日」作文コンクール及び「少年の主張」県大会最優秀者の発表にうつり、福島県の未来になう小・中・高校生のしっかりした発表に大きな拍手が送られました。

～「家庭の日」作文コンクール最優秀作品紹介～

渡邊風紗さん（玉川村立玉川第一小学校2年）「大きいばあちゃんとさくらの木」

大好きな大きいばあちゃん（父方のひいおばあちゃん）の家にあるさくらの木は樹齢260年。大きいばあちゃんが亡くなり、お通夜の日にはさくらが満開だった。家族にも地域の人たちにも愛され尊敬されている大きいばあちゃんの姿が素直な文章で生き生きと表現されている。

須田千裕さん（いわき市立湯本第一小学校3年）「わたしの勉強づくえ」

「勉強つくえがほしい」とお願いしても両親はなかなか買ってくれない。ふしぎに思いながらも、ダイニングやリビングのつくえで勉強したり遊んだりしていると、父母や姉と話す機会がとても多いことに気づいた。忙しい家族が短い時間でもいっしょにいたいという両親の思いや愛情が行間から伝わってくる。



齊藤優美さん（郡山市立芳山小学校6年）「お父さんの大ホームラン」

「カキーン!!」と輝いて飛んでいくお父さんの大ホームラン。大感激しながらもその場では周囲の目を気にして素直にうれしさを表現できず、モヤモヤした気持ちだった。しかし母の機転と夕ご飯のとろけるような焼き肉で素直な自分を取りもどす。愛情あふれる家族が目に見え心があたたかくなる。

渡邊美咲さん（玉川村立須釜中学校3年）「一人っ子だからこそ」

きょうだいげんかの話さえうらやましく、家ではわがままで自分勝手な「一人っ子」。しかし、ある嫌な出来事を家族に話したことから、一人っ子だからこそしっかり一人一人の家族と向き合えることに気づいた。家族と何でも話すように努め、そこに幸せを見いだす姿がすばらしい。

小峰光由さん（福島県立白河高等学校1年）「家族って」

いつも世話をやく母。さりげなく見ていてくれる父。しかし、特に大震災後、多忙や自分の親離れの感情が重なり家族が揃う時間が減った。それでも「親は子どものことを心配しちゃうもの」という母の言葉に「家族って自然な感情で繋がっている」ことに気づき、両親の結婚記念日を「両親感謝日」にしようと決めた筆者のやさしさに心うたれる。

児童生徒による発表の余韻さめやらぬ中、本宮市青少年育成市民会議副会長本多勝春様が力強く大会宣言を読み上げられ、大会を締めくくりました。

※ 「少年の主張」出場者の作文概要は前号で紹介済みです。また、「少年の主張」入賞作品（音声）と「家庭の日」作文コンクール最優秀作品は「福島県青少年育成県民会議」のホームページで紹介しています。